

よろくぶ通信

群馬県立玉村高等学校

発行日 2024. 1. 9

第 62 号

発行人 校長 田島 正徳

1学年は中華まんミュージアムに行き、肉まんを作る行程、おいしさの秘密、肉まんの下の紙の秘密などを学びました。この工場では全国のセブンイレブンの肉まんを作っているそうです。午後は「蔵の街川越」に行き、班別行動で散策しました。時の鐘を見学したり、お菓子を食べたり、みんな楽しんでいました。



中華まんミュージアム

小江戸・川越散策

2学年は広島・大阪・京都修学旅行を実施しました。1日目は飛行機に乗り、広島への厳島神社を見学しました。2日目は広島原爆ドームを見学し、戦争の悲惨さ・平和の尊さについて考えました。午後は大阪市内班別行動で大阪の文化を肌で感じました。3日目のユニバーサルスタジオジャパンではいろいろなアトラクションを体験しました。4日目の京都では金閣寺の美しさに驚き、嵐山の渡月橋を歩きました。新幹線・バスで玉村町に帰ってきました。いろいろなことがありましたが生徒にとってたいへん思い出に残る修学旅行となりました。



厳島神社

原爆ドーム

金閣寺

3学年は那須ハイランドホテルでSDGsについて学習し、カーボンニュートラルについて考えました。那須ハイランドパークではジェットコースター、スーパーバイキングやお化け屋敷等のアトラクションを楽しみました。班別行動で友達との親交を深め、卒業前の良い思い出となりました。



SDGsの学習

那須ハイランドパーク

<新生徒会役員>

会長 丸山 結花(2年)

副会長 戸矢 梓(2年)

書記 小暮 ひま(1年)

会計 カイコリュウ仔(1年)

会計監査 袋畑まひろ(2年)

副会長 小屋原紗希(2年)

書記 平川 常子(1年)

会計 ブンミー タイ仔(1年)

会計監査 本間 凜(1年)

生徒会役員が決まりました。学校や地域に貢献できるように頑張ります！
よろしくお祈りします。

2学期の学校行事

<全体の行事>

- 8・9月 始業式
就職面接指導
2年インターンシップキックオフ講座
2年ビジネスマナー講座
- 10月 中間試験
2年インターンシップ
- 11月 璞玉フェスタ
1年マナー講座
インターンシップ報告会
マラソン大会
2年修学旅行
1・3年1日修学旅行
- 12月 期末試験
球技大会
終業式



インターンシップキックオフ講座



ビジネスマナー講座



玉村町役場(インターンシップ)



JAからかーぜ(インターンシップ)



マラソン大会



璞玉フェスタ



マナー講座

よろくぶ通信2学期 校長室だより

校長 田島 正徳

暦の関係で10月2日となりましたが、今年度も101回目の開校記念式典を無事、開催することができました。昨年度は100周年の区切りとして、玉村町文化センターで大々的に記念式典および記念講演会を行いました。今年は大きな区切りからの、新たな一歩として通常の開校記念式典としました。開校記念式は、母校の歴史を振り返り、無事に学校が続いてきたことに感謝し、さらに学校が充実していく事を確認する大切な行事です。開校当初の「玉村実業補習学校」から101年、そして、現在の「玉村高校」として独立してから65周年を迎えることができました。

現在の校地は江戸幕府を開いた徳川家康から関東平野の治水や新田開発を任された、伊奈忠次の配下であった和田与六郎の屋敷跡です。与六郎は、滝川用水を完成させ、新田開発という一大事業に貢献した業績を評価され、領地が与えられました。玉村高校周辺のこの土地は、与六郎に分け与えられた領地という意味で、「与六分」と呼ばれ、現在の地名として残っています。この「よろくぶ通信」もそこから名前をいただいています。

式典後には、本校卒業生でもある、観世流能楽師：大槻崇充様を講師にお迎えし、記念講演を開催しました。大槻さんからは、「海外の人々が誇りを持って自国の文化を紹介するのに対し、日本人はなかなか説明できない。日本文化に目を向けて、海外の方達にも胸を張って対話してほしい。」との言葉をいただきました。そして、講演に続いて、能「高砂」をご披露いただき、生徒はその雰囲気引き込まれました。

大槻さんもそのお一人ですが、本校卒業生はおよそ1万名となり、玉村町はもとより、日本各地、世界各地で活躍しています。在校生も、それぞれが今後の人生のステージで活躍してくれることを期待しています。

私が大槻さんの講演で一番印象に残ったのは「何かを決めたら、あとは、やるか・やらないか」の一言です。一人ひとりが新たなことに挑戦し、自分自身の人生を切り拓いてほしいと願っています。